



中西夏之《8/18-2》2009年 不透明水彩、鉛筆、紙 31.4×39.2cm 武蔵野美術大学 美術館・図書館蔵

Saburo Aso, Mitsuo Kano, Natsuyuki Nakanishi, Katsuro Yoshida, Haruhiko Yasuda, Isamu Wakabayashi, Yoshinobu Ashihara

ドローイング——内なる水脈の解放——

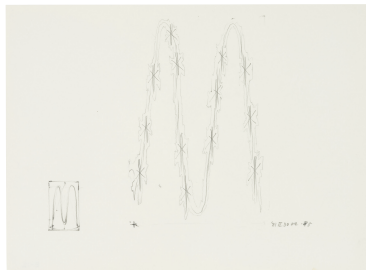
2018.5.21 {mon} — 8.10 {fri}, 8.18 {sat}, 19 {sun}

会場：武蔵野美術大学美術館 展示室4 ※ 開館時間：10:00–18:00（土曜日、特別開館日は17:00閉館）

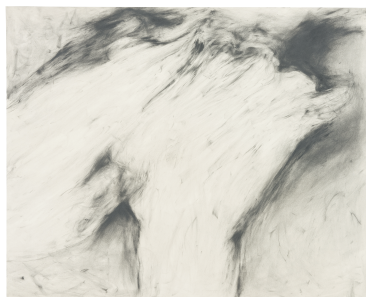
休館日：日曜日、祝日 ※ただし、6.10（日）、7.16（月・祝）、8.19（日）は特別開館 ※ 入館料：無料 ※ 主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

- 1 中西夏之《夏のための連作から、次の空間へ M字型 1981 IX 29〜X 3》
E-12 ('81 IX 30 we -5) 1981年／鉛筆、紙／26.4×35.7cm
- 2 吉田克朗【無題】1985年頃／黒鉛、紙／80.0×99.2cm
- 3 麻生三郎《窓》1963年／色鉛筆、鉛筆、紙／29.4×37.1cm
- 4 若林奮《BLUE and TWO LEAVES》⑥
1994年／水彩、転写、インク、紙／29.6×20.5cm
- 5 加納光俊《バラケルスス顔あるいは足よ疼く飛沫を連れ》II
1979年／エンコスティック、レリーフ・プリント、紙／36.3×26.3cm
- 6 保田春彦【無題】1990年代／色鉛筆、鉛筆、インク、紙／35.5×26.7cm

※すべて武蔵野美術大学 美術館・図書館蔵



1



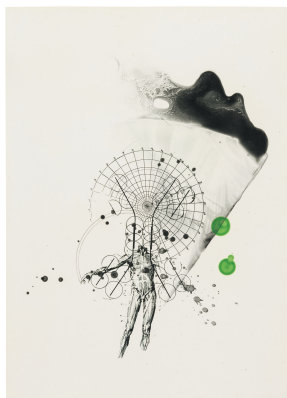
2



3



4



5



6

当館では、2009年に開催した「ドローイング——思考する手のちから」展を皮切りに、学生の教育・研究に資するため、ドローイングの収集に力を入れてきました。本展では、近年収蔵した作品を中心に、画家、彫刻家、建築家という、異なるジャンルの作家たちによるドローイングを紹介します。※ドローイングは身体を伴う行為であり、そこには偶然性が生まれ、無意識のうちに思いも寄らないイメージを生み出すことがあります。このようにドローイングによって頭の中に潜在する何かを表出させることは、地層深くを流れている水脈を探り当てるイメージに似ています。人間の奥底に眠る無意識の一端を頭の外に解放させる、その引き金がドローイングであるといえるのです。また、ドローイングは紙に記録することによって視覚化が可能となるため、物事を客観的に考えることにも適しているといえます。※目まぐるしく変化を続ける現代のデジタル社会においては、パソコンをはじめとする電子機器の普及により、ペンを握らずに意思表示をすることが可能となり、手を動かして何かを書く（描く）という行為は、それ以前と比べて格段に減少しました。そのようなデジタル社会においても、ドローイングにより思考を整理し、無意識から引き出したアイディアをかたちにしていくことは大切であり、多くの可能性を秘めているといえます。それらは制作活動のみならず、これから生きるためのヒントにつながる“有効な手段”であるといえるでしょう。※本展を通して、自ら手を動かしてイメージを探る大切さを感じていただけたら幸いです。

ドローイング——内なる水脈の解放——

Saburo Aso, Mitsuo Kano, Natsuyuki Nakanishi, Katsuro Yoshida, Haruhiko Yasuda, Isamu Wakabayashi, Yoshinobu Ashihara

Drawing: Freeing the Interior Stream

関連イベント

〈トークイベント〉

日時：2018年6月2日（土）14:00-15:30（開場13:30）

会場：武蔵野美術大学 美術館・ホール

出演：伊藤誠（本学彫刻学科教授）、是枝開

（本学芸術文化学科教授）、高橋晶子（本学建築学科教授）、
赤塚祐二（モデレーター、本展監修者、本学油絵学科教授、
武蔵野美術大学 美術館・図書館長）

※入場無料、申込不要（先着順）。直接会場へお越しください。

同時開催

リトグラフ 石のまわりで

会期：2018年5月21日（月）

－ 8月10日（金）、8月18日（土）、19日（日）

交通アクセス

・JR中央線「国分寺」駅北口徒歩3分
「国分寺駅北入口」バス停より
「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車、
「武蔵野美術大学正門」下車（バス所要時間：約20分）

・JR中央線「立川」駅北口（5番乗り場）より
「武蔵野美術大学」行に乗車、
「武蔵野美術大学」下車（バス所要時間：約25分）

・JR中央線「国分寺」駅で西武国分寺線「東村山」行に乗換、
「鷹の台」駅下車徒歩約18分

※お車でのご来館はご遠慮ください。

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：赤塚祐二

（武蔵野美術大学油絵学科教授、武蔵野美術大学 美術館・図書館長）

